

平成30年3月19日

保護者 様

尼崎市立立花西小学校  
校長 米田 浩

## 平成29年度学力・学習状況調査結果の概況について

春陽の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育の推進にご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、年度末にあたり、平成29年4月に実施しました6年生対象の「全国学力・学習状況調査」の結果に基づいて、本校の学力についてまとめました。本年度の結果を元に、次年度も学力向上に向けて取り組みを進めたいと考えております。次年度も変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 1 各教科の概要（平均正答率の全国平均との比較）

各教科の平均正答率を見ると、すべてで全国を上回っています。

【国語A：主として知識】では、1ポイント上回っています。

【国語B：主として活用】では、3ポイント上回っています。

【算数A：主として知識】では、1ポイント上回っています。

【算数B：主として活用】では、2ポイント上回っています。

### 2 各教科の観点別・領域別の状況（全国平均との比較）

【国語A】観点別では、「読む」、「言語事項」とも全国平均より高く、「読む能力」では6ポイント、「言語事項」では2ポイント上回っています。「目的や意図に応じて書く設問」においては4ポイント、「俳句の情景を捉える設問」では5～8ポイント、「漢字の読み書きの設問」では3～4ポイント上回っています。これは、継続して国語科を中心に学力向上を図っている成果だと思えます。

逆に、「話す・聞く設問」、「手紙の後付けを書く設問」では、若干全国平均を下回るものがありましたので、今後の課題としたいと思います。

【国語B】観点別では、すべての観点で全国平均より高く、特に「言語事項」では、10ポイント、「関心・意欲・態度」では6ポイント上回っています。さらに、「目的に応じて適切な言葉遣いで自分の考えを話す設問」では5ポイント、「登場人物の心情、場面についての描写を捉える設問」では9ポイント、「理由を明確にして、自分の考えをまとめる設問」では19ポイントも上回っています。これは、日頃「書くこと」を中心に国語の学習に取り組んでいる成果だと思えます。

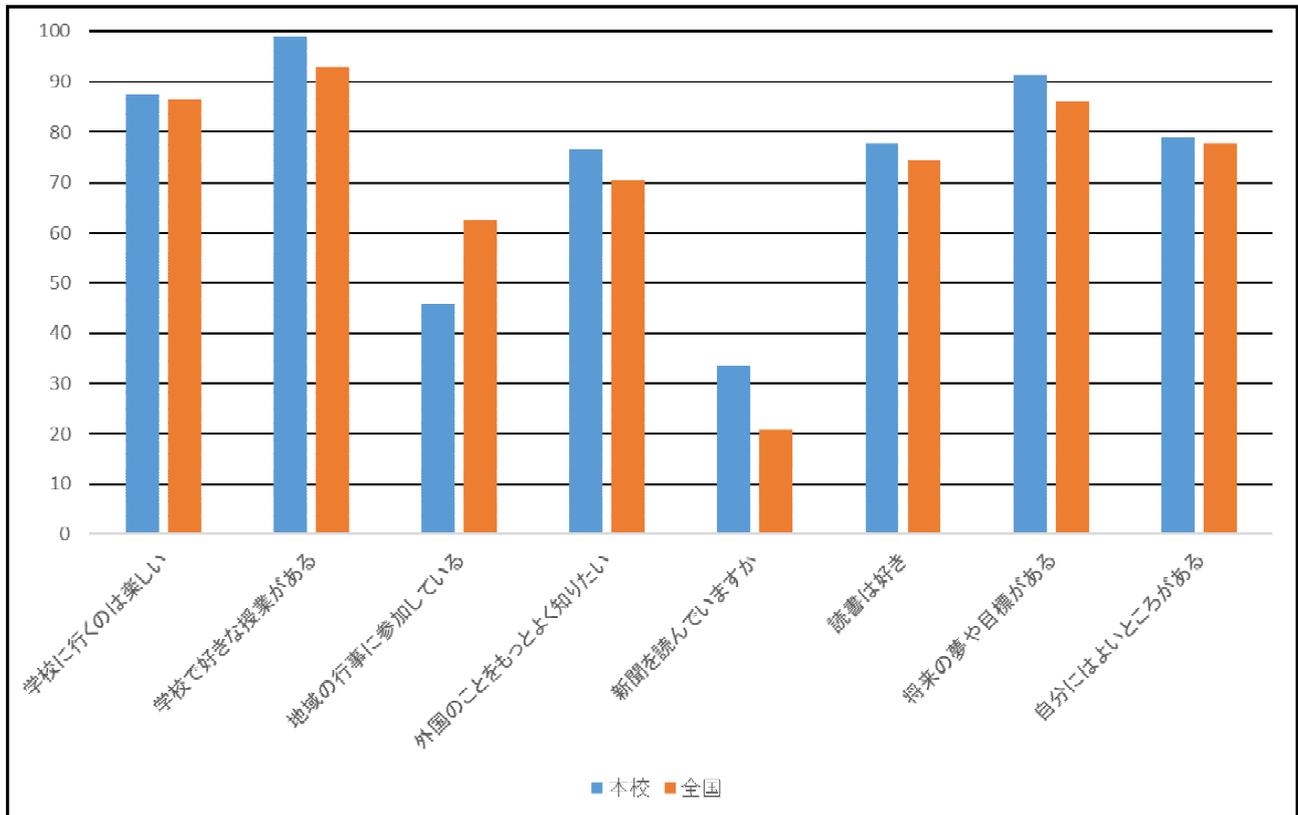
【算数A】領域別では、「数と計算」、「図形」、「数量関係」で全国平均を上回っており、特に「図形」では、5ポイントも上回っています。「最小公倍数を求める設問」では4ポイント、「商を分数で表す設問」では4ポイント、「正五角形の書き方についての設問」では、12ポイント全国平均を上回っています。しかし、「加法と乗法の混合した整数と小数の計算の設問」で若干低い結果が出ています。引き続き、基礎基本の問題で間違いのないようにしっかりと指導を行っていきたいと思えます。

【算数B】領域別では、「量と測定」、「図形」、「数量関係」の3領域で全国を4～9ポイント上回っています。特に「飛び離れた数値を除いて平均を求める設問」では12ポイント、「割合を比較するためのグラフを選ぶ設問」では6ポイント全国平均を上回っています。逆に、「示された条件を基に適切な式を立てる設問」など、7ポイント全国平均を下回るものがありましたので、今後の課題としたいと思います。

### 3 学習状況調査について

学習状況調査は、児童が学校や家庭でのようすについて、アンケート項目に答えた割合（％）です。学習関係についての意識では全国レベルですが、毎年「地域の行事によく参加する」割合が低いです。本校の児童は低学年から高学年まで、盆踊りや餅つき大会などの地域の行事に積極的に参加している児童が多いと思うのですが。反対に、「将来の夢や目標がある」割合が例年より高く、「新聞を読んでいる」、「外国のことをもっと知りたい」割合も高いので、国際化への対応に期待できるかと思えます。

－「子どもの意識や生活」の全国との比較－



今後とも、学校と家庭と地域でしっかり連携して、児童の学力を高め、健全に育てていくため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 4 学力向上に向けての学校の取り組み

- (1) 教育支援員の配置による支援体制を充実
- (2) 自主学ノートやICT機器の活用などで学習意欲を向上
- (3) 放課後学習や木曜日の放課後などを使って学力補充の機会を確保

などの充実を図るととともに、各教科の指導において、

- 長文を読ませて中心を捉えたり、性格に理解しているかどうか確かめる活動。
- 日常生活と関連づいた問題の場面設定。
- 単に考えを書くだけでなく、限られた条件の中で書く活動。
- 文章の構成への理解を深め、構成の工夫を意識しながら書く活動。
- 目的を持ったコミュニケーションによる意味のある対話を実践。
- 問題を考えるときの見方・考え方を教えたり、発見させたりしながら、図・式・言葉など多様な方法を用いて友達に説明する学習。
- 算数科において、普遍単位（cm、kg など）の理解を深めるため、直接比較（直接長さを比べるなど）、間接比較（ひもなどを用いて長さを比べる）をさせるなど、理解する過程を大切にする。

以上のような活動を取り入れながら、児童の学力向上を図り、主体的・対話的で深い学びを実現していこうと考えています。